

# 新時代の岩手を支える技術と実践力を極める 高度技術人材サプライヤー！宮古技専校



設置・運営 ● 岩手県  
所在地 ● 宮古市松山 8-29-3  
訓練課程 ● 自動車システム科 (2年制、定員30名)  
金型技術科 (1年制、定員10名)



自動車システム科



金型技術科

北海道に次ぐ面積を有する岩手県には、県が設置した職業能力開発校が3校ある（県北部、内陸部及び沿岸部）。そのうち、太平洋に面する延長約600キロメートルの三陸海岸のほぼ中央、本州最東端に位置する宮古市にあるのが宮古高等技術専門学校である。

## 設置理念

沿岸地域の職業能力開発の拠点施設として、自動車整備士や金型技術者を志す新規卒者等に必要な知識、技術・技能を習得させ、就職を支援する。また、在職者の能力向上及び離職者、障がい者等の能力開発を進め、産業ニーズに即した人材の養成と雇用の安定を図り、もって地域経済及び社会の発展に寄与する。

## 訓練内容

### ● 自動車システム科

二級自動車整備士技能検定試験合格と新時代に対応できるカーエンジニアを目標に、自動車工学などの関連学科や自動車の点検、調整、整備、故障診断法の技術を習得する。

### ● 金型技術科

金型業界を担う実践力に富む金型技術者を目標に、金型工作法、精密加工、品質管理などの関連学科や金型設計、金型製作などの技術を習得する。

※ 自動車システム科、金型技術科ともに少人数制による丁寧な指導、豊

富な実習時間を特徴としており、近年の就職率は100%である。

### ● 離職者等訓練（委託訓練）

円滑な再就職を支援するため、求職者を対象に各種職業訓練を行っている。対象者は公共職業安定所に求職申込みし、公共職業安定所長から職業訓練の受講指示等を受けた方で、令和3年度は21の訓練を実施した。

### ● 在職者訓練

職場で働いている方等を対象に、必要な知識の習得、技能の向上、資格取得のための訓練を行っている。令和3年度は20の訓練（コース）について、延べ25回実施した。

### ● 障がい者向け職業訓練（委託訓練）

障がいのある方の就業を促進し、県内企業の障がい者雇用を後押しするため、企業等の協力を得て職業訓練を実施している。

### 3校合同「自動車整備業界ガイダンス」の開催

そのほか特徴的な取組として、県立職業能力開発校3校の主催による「自動車整備業界ガイダンス」を例年1月に盛岡市で開催している。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、自動車システム科1年生にとって、3月の就職活動解禁に向けた初めての企業研究の場であり、今後も継続して開催していく予定である。

## 訓練生の声

### （令和2年度入校：自動車システム科）

「当科は、自動車に関する知識や技術を習得し、二級自動車整備士技能検定試験に合格することが第一目標です。国家資格は一生の財産であり、資格を持つことはその分野において活躍できるチャンスでもあります。」

本校は、研修旅行や球技大会などの学校行事もあり、仲間との親睦を深めながら充実した学校生活を送ることが出来ます。目標に向け頑張りが、社会人としての素養も身に付けたいと考えています。」

## 今後の課題等

沿岸地域における人口流失、少子化による高校生の減少、職種や働き方の多様化、本校の認知度の低さ等を背景とする入校応募者数の減が、一番の課題である。

そのため、地域内外の高校を計画的に訪問し、地元開催イベントにてPRを行い、学校見学にも随時対応している。また、SNS（ツイッター及びインスタグラム）やコミュニティFM等を活用して積極的に学校行事や日常風景を発信し、入校生の確保に努めている。さらに、将来を見据え、今年度は初めて小・中学生を対象に「ものづくり体験教室」（ミニ四駆の組立てと試走）を開催した。（校長 細越健志）

